



環境理念

2011年3月11日に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の重大事故は、私たちの生活全般にわたって深刻な影響をもたらし続けています。

電気や化石燃料が十分に供給されることを前提にした従来の考え方は根本的に変えていくことが求められています。

いわて生協は、理事会で決定した「原発をすみやかに廃止し、自然エネルギーを中心としたエネルギー政策へ」の見解と方針に基づき、国に対して原発に頼らないエネルギー政策や再生可能エネルギーの急速な導入を求めます。また、自らも、原発に頼らない事業を継続するため、2020年までのCO₂削減目標を持ち、再生可能エネルギーの活用・導入を積極的に推進し、従来から掲げてきた「持続可能な社会の実現」と人類共通の課題である地球温暖化防止のための活動に取り組みます。

環境方針

1. いわて生協は、東日本大震災によりくらしの価値観が大きく変わったことをふまえ、従来の活動の枠や発想にとらわれることなく、積極的に知恵を込めて以下の課題に取り組みます。

- ① いわて生協の事業における環境負荷を減らすため、マネジメントラインを通じて、全常勤者が、日常の仕事としてPDCAサイクルをまわして継続的な改善を積み重ねていきます。
- ② 資源を大切にす活動を進め、組合員と一っしょに資源節約とリサイクル活動をさらに強めます。またレジ袋の有料化へ向けて取り組みます。
- ③ 産直商品、アイコープ商品の開発と利用普及や地産地消の活動をいっそう推進し、県内農林水産業の復興・振興に寄与します。
- ④ 地球温暖化防止対策として、常勤者も組合員も一っしょに、節電と燃料の効率的使用に取り組みます。また、軽油の代替燃料であるBDFの拡大、エネルギー効率のよい車両の導入を進めます。岩手の森林を保全・育成する取り組みを推進します。
- ⑤ 太陽光発電の発電量増大をはじめ再生可能エネルギー

の導入を推進します。また、施設・設備の省エネ型への更新、改修、変更を推進します。

2. いわて生協は、環境に関する法令を守り、事業によって環境を汚染しないよう、その予防に努めます。
3. 上記の課題に全常勤者が主体的に取り組めるように、環境教育を実施します。
4. この環境方針と環境活動の取り組みの結果を定期的に公表し、社会的責任を果たすとともに、環境問題について社会全体の取り組みがさらに進むことへ寄与します。

制定日 2011年5月23日

改定日 2012年5月28日

改定日 2013年5月27日

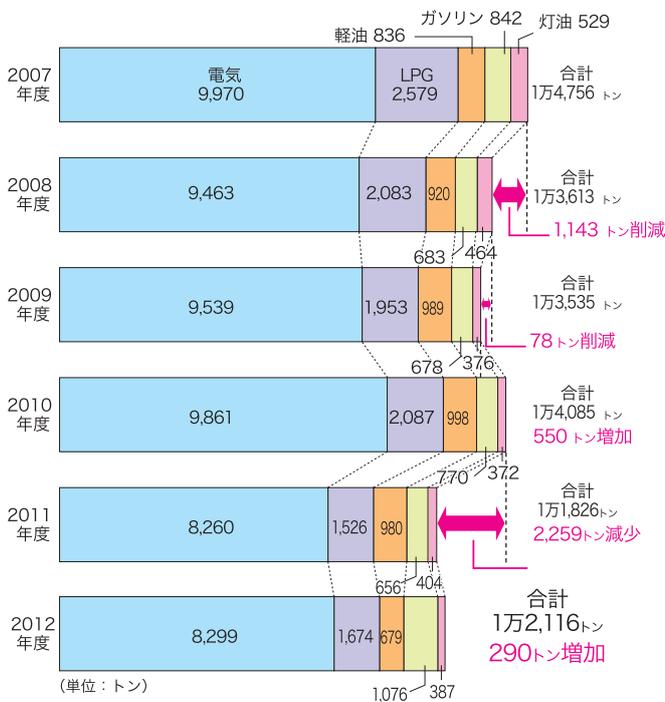
いわて生活協同組合

理事長 飯塚明彦

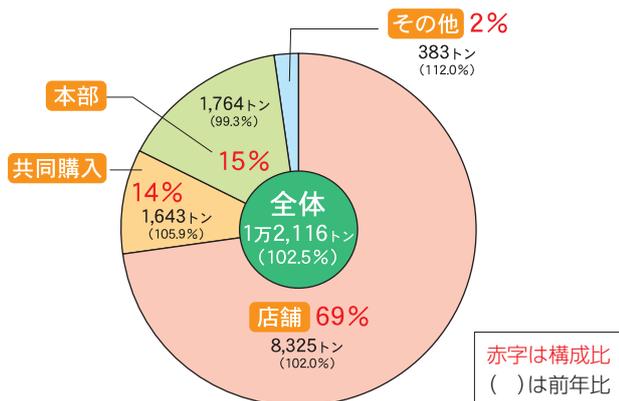
CO₂排出量は前年より増えましたが、2005年度比85.7%と削減

2012年度の二酸化炭素（CO₂）排出量は12,116トン（前年比102.5%）となりました（2011年度は東日本大震災による影響で、前年比84%と大幅削減）。2012年度は、太陽光発電量の増加や、LED照明への切り替えをはじめ全事業所での節電の取り組み、バイオディーゼル燃料（BDF）使用増加による軽油の使用削減などをすすめてきました。こうした取り組みにより、セリオホール釜石の開設があっても、前年比102.5%に抑えることができました。2005年度比では85.7%であり、14.3%の削減となりました。

発生原因別CO₂排出量(単位：トン)



事業別CO₂排出量(単位：トン)



事業を拡大する中でも、2020年までに10%削減をめざします

2012年に日本生協連は、「全国の生協でCO₂など温室効果ガスの排出量を、2020年までに2005年度比で15%削減する」ことを目標にしました。しかしこれは、事業を拡大する生協、縮小する生協を平均しての数値です。いわて生協は、今後も出店や共同購入の拡大、セリオホール開設などの事業拡大がありますが、その中でも10%削減の目標を掲げて取り組みます。

- ①組合員参加の「再生可能エネルギーによる発電事業」に取り組み、電気の地産地消を推進
- ②いわて生協の照明100%LED化の実現
- ③エコストアコンセプトを具体化した節電店舗の建設や、共同購入トラックでのBDF使用拡大

日本生協連「全国生協の温室効果ガス総量削減長期計画」

基準年	2005年度
目標	2020年度までに温室効果ガス排出総量を基準年に対して15%削減する

■日本生協連「総量削減計画」に対する到達点

日本生協連の総量削減長期計画で、電気のCO₂排出係数は電気事業連合会の「2005年度実績値0.423/kwh」を、期間を通じて固定することになったため再計算し変更しました。

		05年度[基準年]	2012年度実績	2020年度目標
CO ₂ 排出量	店舗	12,109トン	9,136トン	11,692トン
		100.0%	75%	97%
	共同購入・個配	1,336トン	1,672トン	1,862トン
		100.0%	125%	139%
	本部・セリオ・他	2,274トン	2,293トン	586トン
	100.0%	101%	26%	
合計	15,719トン	13,101トン	14,140トン	
	100.0%	83%	90%	

2013年度もCO₂削減対策を推進

6月5日に事業を開始したセリオホール牧野林をはじめ、今後建設するセリオホール仙北、八幡平新店、共同購入盛岡南センターは太陽光発電・全館LED照明に。また、既存の店舗・共同購入センター各1施設に太陽光発電装置を設置、本部は全館LED照明に切り替えるなど、CO₂排出削減を推進します。



ベルフ牧野林では店舗入口にモニターを設置し、発電量がわかるようにしています。

セリオホール釜石開設があっても 電力使用量を前年比100.3%に抑制

2012年度、いわて生協全体の電力使用量は、セリオホール釜石開設があっても前年比100.3%に抑えることができました。

店舗では前年比99.3%と、大幅削減（79.6%）した前年のレベルを維持しました。ベルフ仙北・山岸・青山の照明のLED化や、ベルフ青山・マリコープドラの冷凍設備更新のほか、事務所の照明節約、作業室の温度管理徹底、開店前作業時の照明節約などの努力の成果です。



冷却効率を維持するため、冷気の吹き出し口を定期的に清掃。

共同購入では冷凍庫・冷蔵庫の温度設定と間欠運転のコントロールを実施。本部や介護・福祉センターでも節電に努力しました。



冷ケースの照明は一番上だけをつけ、棚間照明は消灯。

2年連続で原発依存率相当を削減

2012年度、いわて生協全体の電力使用量は、2010年度比で16.9%減となり、震災前の東北電力の原発依存率16～17%に相当する電気を2年連続で削減しました。2012年度はデマンド監視システムをベルフ山岸・まつぞの・西町に拡大し、計9店で運用。異常猛暑の中でも、店舗電力使用量を2010年度比80.3%に削減したことが大きく貢献しました。

店舗にも太陽光発電を導入し、 発電量が3倍化

2012年度は、共同購入久慈センター・けせんセンター、ベルフ牧野林の3事業所で太陽光発電をスタート。計6基で発電能力は130kWh（前年40kWh）と3.25倍になりました。



店舗での太陽光発電は、県内流通業で先進的な取り組みです。

家庭の使用済み揚げ油の回収は 前年の2.2倍1万8千リットルに

使用済み揚げ油の回収を増やしBDF活用を拡大するため、組合員へのお知らせを強めました。共同購入でのアンケートでは、約半数の組合員が「生協で回収していることをよく知らない」という結果に。広報紙や「秋のコープのつどい」などであらためてお知らせしたところ、「回収した油を精製して共同購入トラックの燃料にしていることを知らなかった」「回収への出し方を知らなかった」などの声が寄せられました。店舗ではサービスカウンターでの回収を変更し、店内に回収ボックスを設置。回収が組合員に「見える」状況になり、回収量が増えています。



2012年11月より店内に回収ボックスを設置。

BDF使用量は前年の1.2倍に

使用済み揚げ油を精製したBDF（バイオディーゼル燃料）の使用量は39,857ℓ（前年比120.2%）となりました。全10センターで共同購入トラック35台（前年30台）に使用し、軽油使用を減らした効果で、CO₂排出量を105トン抑制することができました。

BDF精製量は23,802ℓ（前年比204.1%）となり、この自前精製分で共同購入トラックでの使用量をほぼまかないました。

3R推進イベントに参加

2013年1月、岩手県主催の「環境王国いわて」3R推進イベントに参加。公開座談会では、内澤祥子副理事長が、牛乳パックやペットボトルなどの回収量と再資源化の取り組みを報告。また、脱原発のための節電の取り組みや、家庭の使用済み揚げ油をBDFに精製し共同購入のトラックに使用していることなど、いわて生協の環境活動を報告しました。



パネリストとして内澤祥子副理事長が参加。

組合員からのリサイクル回収量は 2,848トン

組合員のリサイクル活動は、大震災を機にさらに強まりました。ペットボトル、発泡スチロールトレイ、アルミ缶、使用済み揚げ油の回収量が大幅に増えています。リサイクル回収の合計量は2,848トン（前年比114.3%）となっています（詳細は23ページ）。

ベルフ仙北で古紙回収スタート

2012年9月、ベルフ仙北に古紙回収装置を設置、組合員さんが好きなときに古紙をリサイクルできるようになりました。古紙1kgにつき組合員カードに2ポイント付与されるしくみであり、喜ばれ利用されています。2012年度は5,391人が利用し67トンを回収、1か月平均で940人・11.7トンとなっています（目標は10トン）。



ベルフ仙北の駐車所の一角に古紙回収装置を設置。

生ごみでガス発電、7トンのCO₂削減に

2009年7月から始まった盛岡・滝沢地区の店舗の生ごみ（食品残さ）リサイクル。2012年度は100トン（前年比116%）をリサイクルしました。小岩井農場（バイオマスパワーしずくいし=BPS）で発酵ガス発電や液肥の原料として活用しています。BPSのデータによると、発電貢献量は1万1,842kWh、CO₂排出削減効果は7トンと推計されます。



2012年10月 宮古コープの組合員がBPSを見学。

食品リサイクル率は、法律で45%以上に目標設定されています。

**2012年度
食品リサイクル率 67.5%**

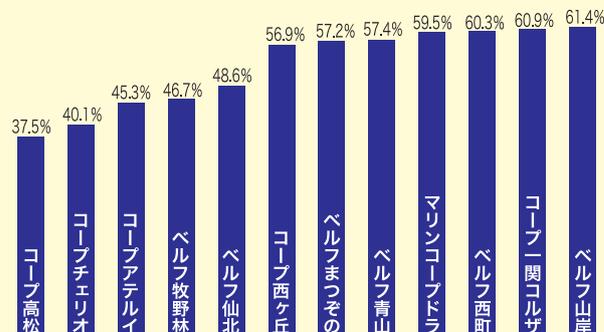
$$\text{食品リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{リサイクルできている量 (421トン)}}{\text{リサイクル量 (421トン)} + \text{食品系廃棄物 (202トン)}} \times 100$$

レジ袋節約率は54%、652万枚を節約 世界環境デーには84.7%に！

レジ袋節約（マイバッグ持参）率は、2013年3月度は54%（前年は55.3%）、年間平均は53.6%でした。

レジ袋節約率（2013年3月度）	54%（年平均では53.6%）
節約できたレジ袋（2012年度）	652万枚
石油節約効果推計（2012年度）	119,133ℓ（6,619缶）
CO ₂ 削減効果推計（2012年度）	251,011kg

レジ袋節約率 全店平均 54%



6月5日「世界環境デー」を「マイバッグ持参の日」として、レジ袋大幅削減（節約率80%）を目標に取り組みました。店内放送やレジでの声かけ、リサイクル袋配布やエコバッグおすすめなどにより、過去最高の84.7%を実現しました。



マイバッグ持参の日には、リサイクル（再利用）袋の利用もおすすめしました。

ペットボトルキャップ回収の 益金5万702円をユニセフ募金に

2011年より店舗でスタートしたペットボトルキャップの回収。2012年度は約4トンを回収し、その益金5万702円をユニセフ募金へ寄付しました。

「コープの森づくり」は4年目となり 第2の森も準備中

「コープの森づくり」活動は、3回目の植樹を2012年6月に葛巻町で実施。組合員家族135人がトチノキの苗530本を植え、「コープの森」は累計6,600本になっています。また、毎年秋にも草刈りやどんぐり拾いなどの企画を実施し、森に親しむとともに、森の手入れの必要性を学んでいます。拾ったどんぐりを苗木になるまで自宅で育てる活動は、現在約200人が取り組んでいます。

葛巻町の「コープの森」は2013年で4年目となり、秋には第2の「コープの森」を奥州市でスタートさせようと準備をすすめています。



2012年6月、葛巻町で3回目の植樹。

「コープの森づくり基金」を設立、 募金も実施

2012年5月には「コープの森づくり基金」を設立。回収した牛乳パックのリサイクル益金の一部と、回収した共同購入チラシのリサイクル益金、「苗木1本募金」を、植樹や森の手入れ、イベントなどの費用に活用しています。植樹する苗木1本分の募金を組合員に呼びかける「苗木1本募金」は、2012年・2013年のいずれも5月に実施しました。

2012年度「コープの森基金」収支報告

収 入	苗木1本募金	11万2,835円
	回収した牛乳パック・共同購入チラシ売却代金	157万8,046円
	協賛金など	1万5,387円
	計	170万6,268円
支 出	植樹費用	76万2,167円
	秋企画など費用	22万3,068円
	計	98万5,235円
残		72万1,033円

※これまでの「環境活動基金」を「コープの森基金」に移行し、2012年度末基金残高は562万3,577円となりました。

「わが家の節電コンテスト」で取り組み交流

家庭での節電の取り組みを募集する節電コンテストを2012年7月に実施。265名から、さまざまなアイデア・実践が寄せられました。その中から「もはや達人で賞」「地道にがんばっているで賞」「ユニークで賞」を選んで表彰、広報誌で紹介し「参考にして節電をさらにすすめよう」と呼びかけました。

「エコショップいわて」の中から表彰

岩手県の「エコショップいわて」認定店舗309店舗の中でも、他の模範となる優れた取り組みをしていると評価され、2012年10月、いわて生協全店とコープ高松が表彰されました。

◆いわて生協全店「特別表彰」

環境方針の見直し・改定ほか3項目が評価されました。

◆コープ高松「部門別表彰」「総合表彰」

「廃棄物排出削減」部門では、2011年度の排出率を前年比25.09%削減したことが評価されました。また、「廃棄物排出削減」「レジ袋辞退率」「トレイ回収率」の3部門の取り組みが総合的に評価されました。



いわて生協専務理事の菊地靖（左）とコープ高松店長の勝村正人（右）

セリオホール牧野林は木造建築

2013年6月5日に事業を開始した「セリオホール牧野林」は、既存のホールよりさらに環境に配慮。初の木造建築で、葛巻町産の木を使用しています。また、照明は全館LED、太陽光発電も行います。



木造平屋建のセリオホール牧野林。まもなく太陽光発電装置も稼働します。

環境配慮の「エコ棺」をおすすめ

セリオ葬では、葬儀の棺に環境負荷の小さい「エコ棺」をおすすめしています。この「エコ棺」は管理された森林から採取した材木を利用した特殊三層構造段ボール。木材の使用は従来の棺の3分の2、火葬時のエネルギーとCO₂排出量は半分に低減されます。また、1棺利用ごと10本の苗木がモンゴルで植林されます。

2012年度は910件の葬儀のうち219件（24%）、累計では713件となり、植林は8,130本（エコ棺分7,130本、セリオからの苗木寄付1,000本）となりました。

また、愛称を組合員から募集し、「エコフィン遠永」に決定しました。



セリオホール内覧会でもエコ棺を展示し、おすすめ。

農産チーム 「顔と暮らしが見える産直品」の普及

新たな産直提携もスタートし、供給高は6億5,552万円（前年比107%）に

輸送距離が短い「顔と暮らしが見える」県内産直品の普及は、環境負荷を減らす上で有効です。産直収穫祭や店舗ごとの産直コーナーの取り組み、日常のおすすめ活動を強めました。また、新たに「紫波農園」との西洋梨（ラ・フランス）産直をスタートしました。



2012年11月17日、産直ラ・フランスを初供給。生産者が売り場でおすす

水産チーム 「三陸産のアイコープ商品」の普及

被災メーカーの復興を継続支援1億8,646万円（前年比445%）の供給高に

大震災からの復旧・復興をすすめるメーカー・生産者への支援を継続して取り組みました。真崎わかめ（宮古市の田老町漁協）を始め、漬魚（石巻市の佐勇水産）、



産直収穫祭で、真崎わかめを使った料理を提案しおすすめする西町こ〜び委員会のみなさん。

産直真崎わかめ使用味付荳わかめ・さんま上乾みりん干（宮古市の古須賀商店）の供給再開や共同開発をすすめ、事業でも組合員活動でも利用普及に取り組みました。

畜産チーム 「県内産畜産物」の普及

供給高は7億1,777万円と大きく伸長（前年比119%）

震災の被害・影響を受けた産直若鶏や産直豚肉の利用拡大を、常勤者と組合員が一緒に取り組みました。産地見学や産直交流会で生産者の実状を知り・伝えたり、レシピ普及に取り組みなど、利用を呼びかけました。



アイコープ豚の生産農場を見学し、生産者と交流しました。

惣菜チーム 県内産食材を利用した惣菜の供給拡大

2億5,138万円（前年比126%）の供給高に

手作りおはぎで使用しているもち米を「紫波町産」へ変更したほか、「岩手町今松野菜生産組合の産直キャベツ」を使ったお好み焼きや「産直アイコープ豚」を使った餃子など、目標を持って取り組み、県内産食材を使用した惣菜の供給高が前年比126%と伸長しました。

グロサリーチーム 県内製造の開発商品の普及

1億1,055万円（前年比93%）の供給高に

県内製造のアイコープ商品の利用普及の企画は前年以上に取り組みましたが、競争環境、経済状況がきびしい中、低価格の商品に利用が集まり苦戦しました。産直米は計画には届きませんでした。前年より利用を伸ばしました（690トン、前年比103.3%）。

環境マネジメントシステム(EMS)の自主運用は4年目をむかえました

いわて生協は2000年に県内流通分野で初めて環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格ISO14001の第三者認証を取得、環境活動を発展させてきました。2009年に3回目の更新審査で認証継続を得ましたが、2010年下期から独自のEMSに移行しました。EMSのマニュアルを簡素化し、より戦略的なテーマに取り組んでいくことがねらいです。

- 内部環境監査** 21人の監査員が、2013年1月14日から2月2日まで、監査基準で抽出した事業所およびシステム全体（環境マネジメント責任者および事務局）に対して実施。重大な不適合はなく、軽微な不適合3件を指摘しすべて是正を終了しました。また改善余地（要望）を7件、他の事業所に推奨すべき所見メモを26件見出しました。
- 環境情報** 環境にかかわる組合員や近隣住民、お取引先からの苦情はありませんでした。店舗の環境活動に関する学校からの見学要請は49件あり、888人の生徒・児童に対応しました。
- 緊急事態想定** 環境上の事故と決めている事態は発生しませんでした。

エネルギー・資材の使用

■エネルギーの使用

電気	21,955千kWh
LPG	253,246㎡
灯油	155,217ℓ
ガソリン	297,864ℓ
軽油	410,145ℓ
車両LPG	79,328ℓ
ドライアイス	538,140kg
水	133,635㎡

■資材の使用

紙

コピー紙(A4版換算)	1,058万枚
コピー紙以外の紙	2,940トン

(共同購入・店舗チラシ・広報物など)

容器・包装材

レジ袋	36,309kg
ポリ袋	9,393kg
トレイ(透明トレイ含み)	163,635kg
ラップ	21,703kg
共同購入シッパー内袋	14,585kg

車両の使用台数(266台)

ディーゼル・BDF車	171台
ガソリン車	87台
LPG車	8台

(2013年3月現在：委託車両は含みません)

環境への排出

■大気への排出

NO _x 排出量試算	145,513kg
CO ₂ 排出量	11,851トン (前年度11,826トン)

■廃棄物

一般廃棄物	778,315kg
廃家電の排出(家電リサイクル法)	106台

■事業活動の中で分別・再資源化しているもの

項目	2012年度	前年比
紙	100,919kg	109%
びん・缶	83,688kg	112%
発泡スチロール	60,703kg	89%
発泡スチロール(減容インゴット化)	49,262kg	94%
ダンボール	1,407,506kg	90%
廃食油	24,576kg	96%
魚アラ	181,880kg	115%
肉脂	41,799kg	87%
生ごみ	178,327kg	104%
共同購入シッパー内袋	6,271kg	93%
商品納品時フィルム	4,397kg	101%
合計	2,139,328kg (2,139トン)	94%

組合員のリサイクル活動(店・共同購入)

上段：回収量(前年比) 下段：枚数換算値

トレイ(発泡)	48.1トン (118%) 961万枚 回収	トレイ 285万枚に再生 この他、透明トレイ、ふたが16.7トン回収されています。
ペットボトル	107.2トン (118%) 178万本 回収	卵パック 625万枚に再生
卵パック	18.4トン (101%) 109万枚 回収	卵パック 109万枚に再生
牛乳パック	55.0トン (99%) 164万枚 回収	トイレットペーパー換算 約14万ロールに再生
共同購入チラシ	2,563トン (114%) 回収	アイコーわたしたちのリサイクルトイレットロールに再生 約345万ロールに相当
アルミ缶 スチール缶	38.3トン (134%) 回収	アルミ・鉄製品に再生
廃食油	18,793ℓ (218%) 回収	BDF(バイオディーゼル燃料)を作ります。

※業者に払い渡して再資源化した数量です。

いわて生協のリサイクルの流れ

牛乳パックの回収

店舗共同購入 ▶ 業者に引渡 ▶ 一関市・北上製紙 ▶ 紙製品

共同購入チラシの回収

生協本部保管 ▶ 業者に引渡 ▶ 一関市・上山製紙 ▶ アイコーわたしたちのリサイクルトイレットロール

ペットボトル、卵パックの回収(ペットボトルは店舗のみ)

店舗・共同購入(ペットボトル・卵パック) ▶ 大船渡市・洗浄・ペレット化 ▶ 三重県のシートメーカー ▶ 生協で供給する卵パックに利用

ペットボトルは共同購入では回収していません。

食品トレイ・透明トレイ・ふたの回収

店舗共同購入 ▶ トレイメーカーエフピコ工場 ▶ 再生トレイ

発泡スチロールの回収

店舗SC、FC ▶ 本部・減容処理(インゴット化) ▶ 大船渡市・志田産業ペレット化 ▶ 再生原料として出荷(国内)

1990年 いわて生協合併発足

- 牛乳パックの回収リサイクルを開始
- 買い物袋節約スタンプ制開始
- 印刷用紙、コピー用紙、名刺等の再生紙への切り替え開始

1991年

- 使用済みOCR用紙のリサイクルを開始
- 食品トレイの回収開始

1992年

- アルミ缶の回収を青山店（現ベルフ青山）で開始
- 朝配達牛乳のビン容器化のテスト実施

1993年

- 朝配達牛乳で紙パックからリターナブルビン容器（720ml）へ切り替え
- レシート用紙が再生紙に
- 包装ラップを非塩ビラップに切り替える実験

1994年

- 包装ラップを非塩ビラップに切り替え
- 店舗の飲料自動販売機の台数を削減（42台から20台へ）
- ギフトの簡易包装紙を開発使用

1995年

- ペットボトルの回収リサイクルを開始
- 共同購入トラックにLPG（低NOx）を導入開始

1996年

- 共同購入盛岡3支部で商品案内チラシ回収リサイクルを開始
- 注文のないOCR注文用紙の回収リサイクルを開始

1997年

- 共同購入全支部で商品案内チラシ回収リサイクルを実施
- 盛岡市「ごみ減量・リサイクル協力店」に認定

1998年

- 回収したペットボトル・卵パックを卵パックとして再利用
- 回収した商品案内チラシを原料にトイレットペーパーを商品開発

1999年

- アイコープ低温殺菌牛乳（200ml）でリターナブルビン容器使用
- ペットボトル・卵パック圧縮減容の作業開始

2000年

- 県内流通業で初めてISO14001規格の外部認証取得
- LPG車両が50台を超え半数以上の導入計画達成
- マイバッグ、マイバスケットの本格的普及活動を開始

2001年

- 「いわて大環境祭」（滝沢村・県産業文化センター）に出展参加
- 印刷物に大豆インキを採用
- 遺伝子組換え原料・飼料の排除のとりくみ本格化

2002年

- 買い物袋節約スタンプからカードポイント制に変更
- 共同購入の内袋を回収し、内部使用のゴミ袋にリサイクル

2003年

- 買い物袋節約率が30%を超える
- 奥州市コープアテルイで生ごみの堆肥化リサイクルを開始

2004年

- 印刷物・帳票類の再生紙への切り替えが終了

2005年

- 岩手県「エコショップ」制度第1号認定を受ける（全店）
- 「森林（もり）を守る募金」開始（以後4年間で県内環境団体へ150万円贈呈）

2006年

- セリオホールみたけに太陽光発電1基目を導入
- 共同購入トラックでBDF使用開始（6台）

2007年

- PPバンド、ストレッチフィルムなど廃プラスチックのリサイクル拡大
- 買い物袋節約率45%に到達。50%をめざす新目標を決定

2008年

- 発泡スチロールの減容・リサイクル施設完成
- 共同購入トラックで燃費改善のとりくみ開始
- 買い物袋節約率が51%となり組合員の過半数の節約率を実現

2009年

- 本部構内にBDF精製施設を設置
- 透明トレイ・ふたの回収リサイクルを開始
- 盛岡エリア店舗の生ごみ（食品残渣）を小岩井農場内でガス発電・液肥へのリサイクルを開始

2010年

- 「コープの森づくり」活動スタート。葛巻町で第1回の植樹実施
- BDF使用が本格化し全支部で24台がBDFで走行
- 県「エコショップ」制度で「特別表彰」（模範的事業活動に対して）を受賞
- 3回目の更新審査合格を機にISO14001を終了。独自EMS運用へ

2011年

- 家庭の使用済み揚げ油回収スタート
- セリオホールみやこ開設、2基目の太陽光発電導入
- 「低炭素杯2012」で特別賞受賞（震災時のBDF活用が評価された）
- イオングループ3社と共同で、レジ袋大幅削減に向けた提言書を、岩手県と岩手県市町村清掃協議会へ提出

2012年

- 「コープの森づくり基金」設立
- 「マイバッグ持参の日」にレジ袋節約率84.7%と過去最高を達成
- 久慈支部、けせん支部、ベルフ牧野林に太陽光発電設置
- 「古紙回収システム」ベルフ仙北でスタート
- 県「エコショップ」制度で、コープ高松が総合表彰、いわて生協全店も特別表彰を受賞

いわて生協のプロフィール (2013年3月20日現在)

本部 / 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3
 電話 019-687-1321 (代表)
 FAX 019-687-1491
 http://www.iwate.coop/
 創立 / 1990年3月21日

出資金 / 73億8,397万円
 供給高 / 376億9,083万円 (2012年度実績)
 組合員数 / 210,953人 (県内世帯数比41%)
 班数 / 10,961班 (個配含まず)
 班員数 / 33,567人
 個人宅配 / 36,664人

2012年度の事業の決算概況

2012年度損益計算書

(2012年3月21日～2013年3月20日) (単位: 百万円)

科目	実績
供給高	37,691
供給剰余金	9,503
その他の事業収入	1,197
事業総剰余金	10,717
管理費	9,703
人件費	4,492
物件費	5,211
事業剰余金	1,014
事業外収益	66
事業外費用	30
経常剰余金	1,050
特別利益	76
特別損失	665
税引前剰余金	461
当期剰余金	104

事業部門別供給実績

(2012年3月21日～2013年3月20日) (単位: 百万円)

事業部門	実績
店舗事業	21,541
共同購入事業 (灯油含む)	15,107
葬祭事業	1,040
その他	3
総供給高	37,690

2012年度貸借対照表

(2013年3月20日現在) (単位: 百万円)

資産の部		負債・資本の部	
流動資産	8,607	流動負債	7,667
固定資産	10,509	固定負債	1,789
有形固定資産	7,883	出資金	7,307
無形固定資産	268	剰余金	2,353
その他固定資産	2,358		
資産合計	19,117	負債・資本合計	19,117

職員数およびその増減、その他の職員の状況

区分	前期末数	当期末数	平均年齢、 平均勤続年数
正規職員	333人	324人	42.1歳 18.1年
その他の職員	総数	1,585人	1,534人
	正規換算数	1,006人	

(注) その他の職員の正規換算は、1日8時間を基準としています。



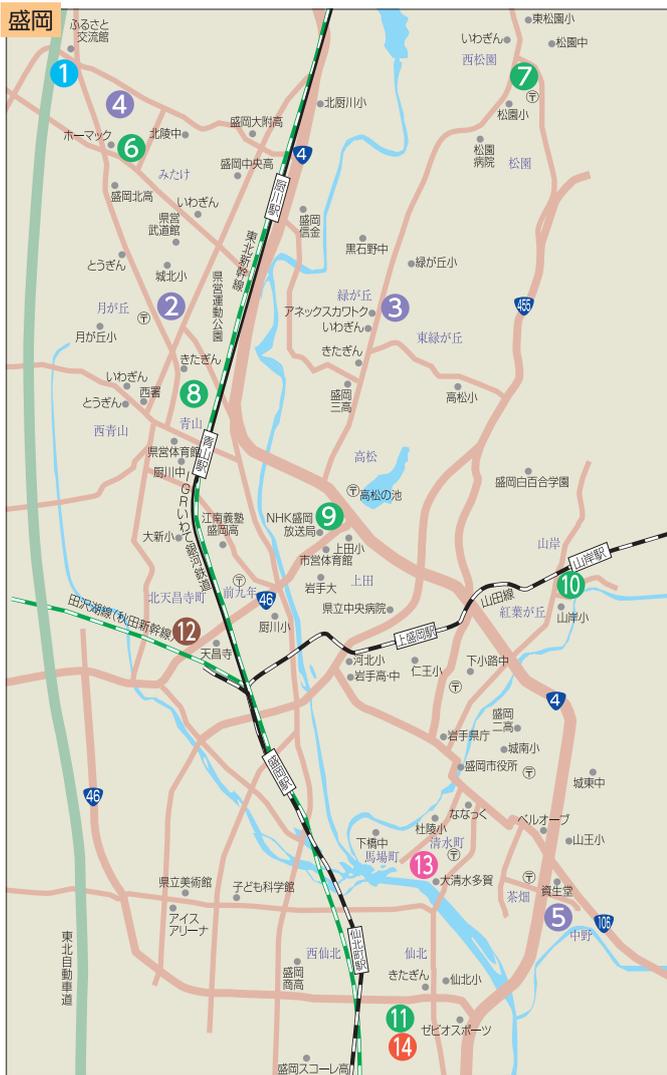
「高齢・障害・求職者雇用支援機構」より表彰

いわて生協が「高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰」を受賞。障がいをもつ方と一緒に働くことを積極的に推進し、法定雇用率を超過達成してきたことが認められました。

これから働きやすい職場環境をめざします」と、表彰状を手に総務人事務チームの女鹿光子(右)、表彰式に参加した内澤祥子副理事長(左)。



事業所一覧



- 1 いわて生協本部**
滝沢村滝沢字土沢220-3
管理本部/役員室・開発施設部・組織本部 ☎ 019-687-1321
事業本部/商品部・店舗事業部・品質管理室 ☎ 019-687-1441
経理チーム ☎ 019-687-1341
共済センター ☎ 0120-168160
コープ保険センター ☎ 0120-239739
盛岡灯油センター ☎ 0120-112021
住まいと暮らしのサービスセンター ☎ 0120-879300
- 2 セリオホールみたけ** 年中無休
盛岡市みたけ3丁目7-35
P 30台 ☎ 0120-529711
- 3 セリオホール緑が丘** 年中無休
盛岡市緑が丘3丁目10-35
P 36台 ☎ 0120-809241
- 4 セリオホール牧野林** 年中無休
滝沢村滝沢字牧野林868-1
P 40台 ☎ 0120-447631
- 5 セリオホール中野** 年中無休
盛岡市中野2丁目3-25
P 60台 ☎ 0120-059212

- 6 Belf牧野林** 9時~23時
滝沢村滝沢字牧野林291-1
P 550台 ☎ 019-699-3566
- 7 Belfまつぞの** 9時~22時
盛岡市松園3丁目18-20
P 110台 ☎ 019-662-5152
- 8 Belf青山** 9時~23時 灯油取扱
盛岡市青山4丁目17-2
P 180台 ☎ 019-647-8181
- 9 コープ高松** 7時~23時
盛岡市上田4丁目21-5
P 30台 ☎ 019-624-2218
- 10 Belf山岸** 9時~22時 灯油取扱
盛岡市山岸2丁目16-8
P 150台 ☎ 019-654-2184
- 11 Belf仙北** 9時~22時 灯油取扱
盛岡市仙北3丁目8-40
P 180台 ☎ 019-635-0135
- 12 コープ介護・福祉センター"あい"**
盛岡市北天昌寺町1-60
9時~18時 P 145台 ☎ 0120-179131
- 13 盛岡市保護施設 盛岡市保存建造物 南昌荘** P 10台
盛岡市清水町13-46
10時~17時/月休 ☎ 019-604-6633
- 14 コープトラベルいわて**
盛岡市仙北3丁目8-40(Belf仙北2階)
10時~19時 ☎ 019-631-2671



- 15 コープチェリオ** (黒沢園) 8時~19時半
宮古市崎銀ヶ崎1-11-26
P 140台 ☎ 0193-64-4121
- 16 Belf西町** 9時~22時
宮古市田の神2丁目2-30
P 80台 ☎ 0193-62-0203
- 17 コープ西ヶ丘** 10時~21時
宮古市西ヶ丘1丁目6-1
P 40台 ☎ 0193-64-1158
- 18 マリンコープDORA** 10時~21時
(冬季は20時閉店、日曜・祝祭日、1日、15日は9時開店)
宮古市小山田2丁目2-1
P 600台 ☎ 0193-63-3131
- 19 セリオホールみやこ** 年中無休
宮古市小山田3丁目3-5
P 60台 ☎ 0120-634477

	<p style="text-align: right;">奥州</p> <p>コープAterui 10時~22時 (日曜・祝祭日、1日、15日は9時開店)</p> <p style="text-align: right;">奥州市水沢区佐倉河字東沖ノ目123 P 1400台 ☎ 0197-51-0088</p>
--	---

	<p style="text-align: right;">一関</p> <p>コープ一関COLZA 9時~22時</p> <p style="text-align: right;">一関市石畑3-1 P 380台 ☎ 0191-26-3331</p>
--	--

	<p style="text-align: right;">釜石</p> <p>セリオホール釜石 年中無休</p> <p style="text-align: right;">釜石市松原町2丁目7-23 P 20台 ☎ 0120-253660</p>
--	--

共同購入センター	
<p>盛岡東・西・南センター 滝沢村滝沢字土沢220-3 ☎ 0120-042306</p> <p>宮古センター 宮古市田鎖8地割字十文字12-1 ☎ 0120-693312</p> <p>花北センター 花巻市石鳥谷町小森林第5地割220-1 ☎ 0120-405531</p> <p>県南センター 奥州市前沢区字五合田63-8 ☎ 0120-803620</p>	<p>釜石センター 釜石市大字平田第3地割75-1 ☎ 0120-272201</p> <p>けせんセンター 大船渡市盛町字馬場23-5 ☎ 0120-263957</p> <p>にのへセンター 一戸町一戸字越田橋25-1 ☎ 0120-255582</p> <p>久慈センター 久慈市新井田3-98-1 ☎ 0120-341588</p>